

制振材 レジエトレックス™

制振材とは

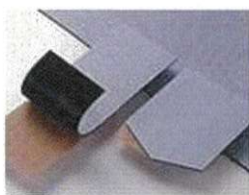
制振材とは、振動する物体に貼り付けることで、振動を抑制するもの。

薄層パネルは容易に振動が発生

↓
制振材を貼ることで、薄層パネルに制振効果を付与

↓
騒音の原因となる振動を抑制することで、騒音対策が可能

◆製品構成



拘束層
アルミ/ガラスクロス



粘弾性層
合成ゴム系粘着剤
はく離紙

◆使用事例

●自動車



ドア、フェンダー

●住宅



キッチン・シンク

●家電



掃除機

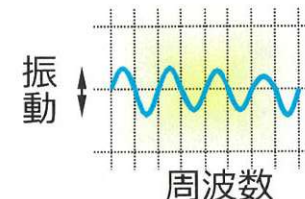
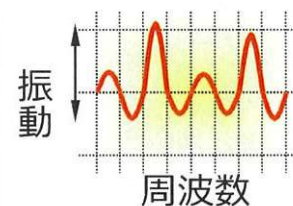


洗濯乾燥機

◆制振できる振動

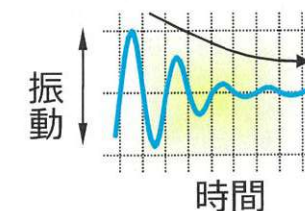
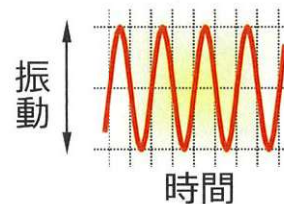
①共振周波数での振動抑制

パネルの共振周波数で、振動のエネルギーを低減



②振動時間の短縮

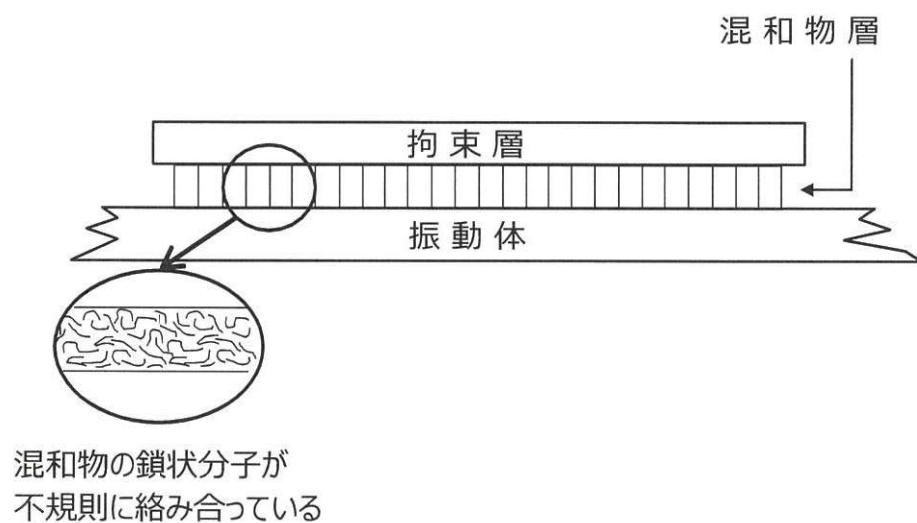
過渡振動を減衰させ振動時間を短縮



制振性発現メカニズム

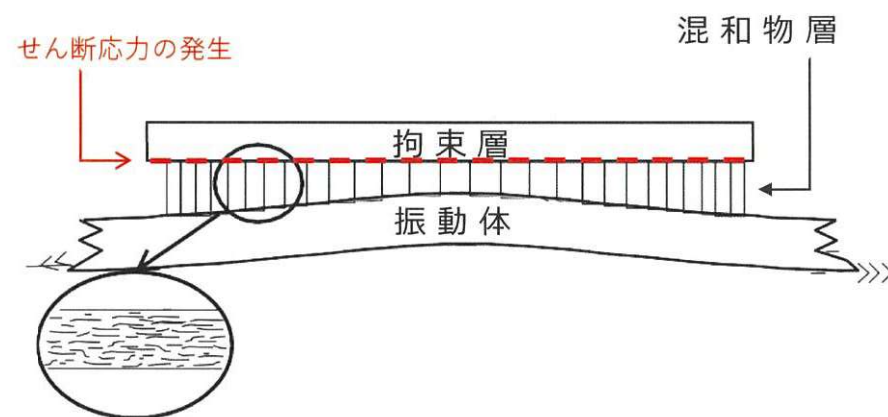
“振動”を“熱エネルギー”に変換することで制振性が発現

◆ 静止状態



振動発生

◆ 振動状態



- ①せん断応力の発生（拘束層と混和物層の間）
↓
- ②応力により混和物層内の分子が動くことで摩擦熱が発生
↓
- ③振動エネルギーを熱エネルギーに変換、振動の停止

TECHNICAL DATA SHEET



制振材 レジエトレックス

◆特徴

- 低比重のため軽量化に貢献
- 広い温度域にて安定した制振性能を発揮
- 感圧型粘着タイプのため、接着剤塗布・熱処理不要

◆一般特性

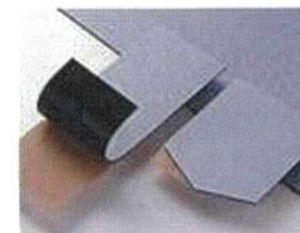
		単位	レジエトレックス D-300N アルミシートタイプ	レジエトレックス D-350 ガラスクロスタイプ
厚さ		mm	1.5	2.2
比重		-	1.4	1.3
製品重量		kg/m ²	2.1	2.9
90℃ピール粘着力 (対SUS板)	0℃	N/25mm	91.4 粘着剤層破断	95.3 粘着剤層破断
	20℃		59.4 粘着剤層破断	68.8 粘着剤層破断
	40℃		22.1 粘着剤層破断	24.4 粘着剤層破断

アルミ/ガラスクロス



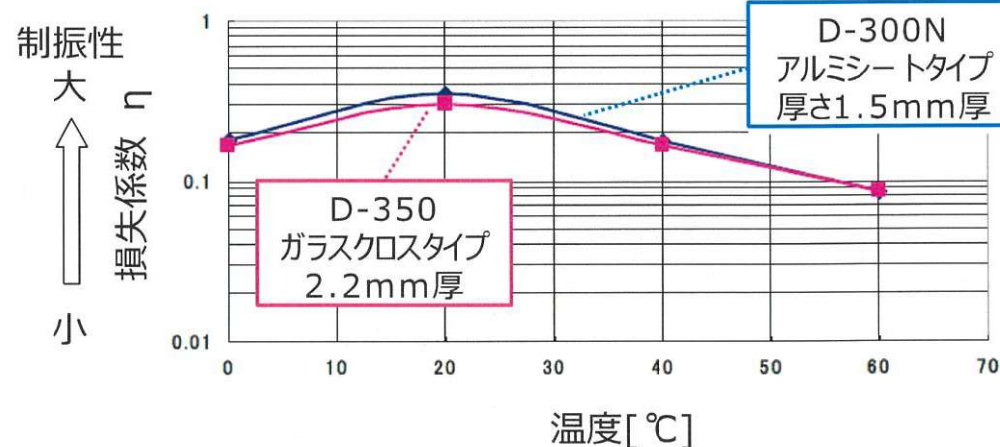
合成ゴム系粘着剤

はく離紙



◆制振特性

中央加振法(JIS K7391)にて2次共振点の損失係数をプロット
被着体：鋼板 (0.8mm厚×10mm×250mm)



※本データは測定値の一例であり保証値ではありません。

©Parker Corporation. All rights reserved.